



高橋総務委員長



小松会長



コーヒーサロン 大村・加納(社協)・波多野



コーヒーサロン 樋口・波多野・脇所支配人



34期生の皆さん



【鯨城学園設立の趣旨】

高齢者の生きがい作りと、地域活動の核となる人材の養成を目的として設立されています。

【教育目標】

1. 幅広いカリキュラムによる学習活動を通して、現代社会について理解を深め、個人としての自立を目指します。
2. 学生会やクラブ活動・クラス活動などの自主活動を通して、相互学習・友情と連帯・組織運営などの体験を深めます。
3. 学習と自主活動の成果を「社会参加」に結びつけます。

【高齢者の2割が「生きがい持たず」2022年版「高齢社会白書」】

今年の「高齢社会白書」が6/14閣議決定され、65歳以上のおよそ2割が「生きがいを感じていない」と回答したことが分かりました。今年の「高齢社会白書」では、内閣府が去年12月に65歳以上の高齢者、およそ2000人を対象に行った「生きがい」に関する調査結果が報告されました。結果として「生きがい」を「感じている」と答えた人は全体の72.3パーセントだった一方で、「感じていない」と答えたのは20.5パーセントに上りました。また、生きがいを感じている人は収入を伴う仕事や地域の社会活動などに参加している傾向が高かったほか、「パソコンの電子メールで家族・友人などと連絡をとる」と答えた人は「情報機器を使わない」と答えた人に比べて、生きがいを感じている割合が高い傾向にありました。近所づきあいや外出頻度が多い人ほど生きがいを感じる割合が高かった。

白書では、高齢者が充実した暮らしを送るためには、地域での居場所を持つことや、情報格差の解消などが重要だとされていて、高齢者がこうした機会を得られるよう、環境の整備を進めるべきだとしています。

【ネットで「生きがい」3倍に 65歳以上、未利用者比べ】

インターネットやネット交流サイト（SNS）を利用している65歳以上の高齢者は、使っていない人に比べ「生きがいを十分に感じる」と回答した人が3倍以上に上った。白書は「今後も高齢者のデジタルデバイド（情報格差）解消に向けた支援が重要」と強調している。調査は21年12月に全国の60歳以上の男女4000人に郵送で実施。有効回答率は60.9%。白書では65歳以上の回答（2049人）を取り上げた。今回初めて、質問ごとに生きがいを感じる程度を尋ね、分析した。

【高齢化率は28.4%】

我が国の総人口は、令和元（2019）年10月1日現在、1億2,617万人となっている。65歳以上人口は、3,589万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）も28.4%となった。65歳以上人口を男女別に見ると、男性は1,560万人、女性は2,029万人で、性比（女性人口100人に対する男性人口）は76.9であり、男性対女性の比は約3対4となっている。

以上